

事務事業名		学校給食・スクールバス運行业務事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	06 豊かな心をはぐむ人づくりの推進			事業期間		予算科目				
	施策名	27 学校教育の充実					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 学校施設・設備の整備・充実			☐ 単年度のみ		01	10	01	02	07
所 属	根拠法令	学校給食法			☒ 単年度繰返 (開始 昭和45 年度 ~)						
	部課名	教育委員会学校教育課			☐ 期間限定複数年度 【計画期間】						
	係 名	越喜来学校給食共同調理場	電話	44 - 2040	年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											
三陸地区小学校(5校)・中学校(3校)・幼稚園(3園)の児童生徒園児等に提供する学校給食の調理・運搬と、三陸地区において遠距離通学する児童生徒園児等を送迎するスクールバス運行业務を委託する。 受託業者である財団法人三陸教育施設運営会では、綾里及び越喜来学校給食共同調理場における小中学校(年180食/人)と幼稚園(年185食/人)の給食調理業務を行うとともに、吉浜地区へ給食をコンテナ車で運搬する。 また、三陸教育施設運営会ではスクールバス5台の運行业務を行う。この際、園児等の安全確保のため、綾里及び吉浜地区については添乗員(臨時職員)を同乗させる。 主な業務は次のとおり。三陸教育施設運営会と業務委託契約を締結する。 四半期ごとに受託者からの請求に基づき委託料を支払う。 綾里、越喜来地区への給食の搬送業務は民間に委託する。 事業費は、委託料として支出される。											
全体計画(期間限定複数年度のみ)											
総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金									
		都道府県支出金									
		地方債									
		その他									
		一般財源									
	事業費計 (A)	0									
	人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間										
	人件費計 (B)	0									
	トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称 単位
三陸地区市立学校の学校給食調理・配送業務とスクールバス運行及び添乗業務を委託した。	ア 給食の提供回数 回
また、給食配食業務の一部を民間委託した。	イ スクールバスの運行回数 回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	ウ
21年度と同様に業務委託する。	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	対象指標(対象の大きさを表す指標)
三陸地区の小中学校幼稚園の児童生徒園児等	名称 単位
	カ 三陸地区の児童生徒園児等数 人
	キ
	ク
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
・安全で健康によいおいしい給食が食べられる。 ・遠距離通学の児童生徒の利便が図られる。	名称 単位
	サ 給食食材に関するクレーム件数 件
	シ スクールバス運行時間に関するクレーム件数 件
	ス
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	
安全・快適な学習環境がある。	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業費内訳	単位						
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千 円					
		都道府県支出金	千 円					
		地方債	千 円					
		その他	千 円					
		一般財源	千 円	68,067	65,370	68,351	70,402	70,972
	人件費	事業費計 (A)	千 円	68,067	65,370	68,351	70,402	70,972
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
		人件費計 (B)	千 円	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	72,867	70,170	73,151	75,202	75,772
活動指標	ア	回	150,480	145,440	145,000	132,970	125,818	122,111
		回						
		回						
対象指標	カ	人	836	798	755	682	611	663
成果指標	サ	件	0	0	0	0	0	0
		件	0	0	0	0	0	0

事務事業ID	0918	事務事業名	学校給食・スクールバス運行業務事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

三陸町において昭和35年度からスクールバスを運行し、昭和45年からは共同調理場を整備して学校に給食を提供してきたが、昭和52年に三陸教育施設運営会を設立し、これら業務を委託した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- ・少子化の進行に伴い、児童生徒数は減少している。
- ・2箇所の共同調理場のうち越喜来共同調理場は著しい老朽化が進行している。
- ・公益法人制度改革により、財団法人三陸教育施設運営会の存続が危ぶまれている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

地域から継続を求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 学校給食の供給や遠距離通学児童生徒の交通手段を確保する事業であり、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 学校給食法により義務教育諸学校の設置者には学校給食実施の努力義務が課せられている。遠距離で交通機関のない三陸地区の児童生徒等にとってスクールバスは不可欠のものである。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 安全で健康によいおいしい給食の提供と遠距離通学者への対応であり、ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] バランスが取れ、かつ子どもたちがおいしく食べられる献立について、常に給食担当者会議で検討を進めており、成果の向上は期待できる。スクールバスの運行時刻については、最も利便が図られる時間帯としているが、他への影響のない範囲内で変更は可能である。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 学校給食を提供できなくなる。通学できない児童生徒等が出てくる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] スクールバスは路線によっては他の交通手段で輸送が可能な路線もある。共同調理場は越喜来共同調理場は他の施設との統廃合を検討する必要がある。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] スクールバスは路線によっては他の交通手段で輸送が可能な路線もある。共同調理場は越喜来共同調理場は他の施設との統廃合を検討する必要がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 法人への委託事業であるし、1名の担当職員が事務処理していることから、人件費の削減は困難である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] スクールバスは一部で学校長の判断で通学路の安全確保のため遠距離通学に該当しない子供も対象としている。

事務事業ID	0918	事務事業名	学校給食・スクールバス運行業務事業
--------	------	-------	-------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 共同調理場の統廃合については、学校給食の拠点化に合わせて検討していく必要がある。また、市全体の学校給食の中でスクールバスは、他の交通機関(県交通バス・患者輸送車等)と合わせて総合的に検討する必要がある。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) スクールバスの運轉業務は、財団法人三陸教育施設運営会の職員1名以外はパート雇用職員であり路線の廃止以外は経費の節減は難しい。 共同調理場と他の給食施設との統廃合を検討していく必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	●		×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 スクールバスは、通学路の安全確保の観点から遠距離通学の対象とならない児童の乗車を校長から求められ、一部では許可している例があり、さらに拡大することを要望されている。																								

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

学校教育課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

スクールバスの運行業務の見直し、越喜来共同調理場の業務委託の在り方について検討をしていく必要がある。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持
 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

財団法人三陸教育施設運営会の職員が業務を行っているが、学校給食調理業務について、今後検討していく必要がある。また配送業務と、スクールバスの運行業務については、同一職員が携わっていることから、民間委託を視野に入れ検討をしていく。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○	●	×
	低下		×	×

5

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項